

ながぬま



稲刈り作業

— 8区 越路 速人さん —

農協決算報告

事業の概況

令和4年度上半期事業の概要を報告いたします。

本年の積雪は多く、融雪期は平年より10日遅い4月2日となりました。春先から農作業は順調に行われましたが、6月上旬の低温により生育遅れがみられました。その後6月中旬から7月中旬にかけて高温少雨で推移し、概ね各作物において順調に収穫作業が行われています。

水稻では、育苗期間中の気温、日照も確保され苗質は良好で、移植期は平年並の5月21日となりました。移植後、6月上旬の低温により分けつが緩慢となり、幼穂形成期は平年より2日遅い7月3日となりました。前歴期間、冷害危険期の気温は平年より高く推移しましたが、出穂期は平年より1日遅い7月30日、成熟期は平年並の9月12日となりました。稔実歩合は平年よりやや低いですが、総粒数は平年よりやや多いことから、収量は平年並の見込みとなっております。

小麦については、起生期は平年より4日遅い4月3日で、茎数は平年より多く、その後の好天により、幼穂形成期は平年より2日早く、止葉期および出穂期についても平年より3～4日早まり、成熟期は平年より4日早い7月14日で、収穫期は平年並でした。穂長がやや短く、収量への影響が懸念されましたが、一穂粒数は平年並だったことから品質、収量は平年並みとなり、麦バラ施設における小麦受入重量は14,398 t（計画対比95.6%）となっております。

主な事業内容は下記の通りであり、各事業の目標達成に向け積極的な事業推進に努め、組合員経済の安定向上と農業経営に万全を期してまいりますので、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

信用事業

区分	上期末残高	前年対比	
貯金	39,601,839千円	1,047,005千円増加	
貸付金	長・短期	5,688,607千円	317,247千円減少
	受託資金	6,424,106千円	184,317千円増加
	計	12,112,714千円	132,930千円減少

共済事業 (生命・終身・こども・建更・年金)

区分	上期末保有高	前年対比
保障額	69,945,190千円	573,220千円減少

販売事業

区分	上期末取扱高	前年対比
米	211,833千円	53,570千円減少
小麦	28,733千円	7,034千円増加
豆類・その他	32,189千円	81,491千円減少
園芸	1,415,156千円	302,125千円増加
酪畜	1,048,414千円	38,693千円増加
計	2,736,327千円	212,790千円増加

営農資材事業

区分	上期末取扱高	前年対比
肥料	560,511千円	108,441千円増加
その他資材	1,269,515千円	51,867千円増加
農機具	340,238千円	163,164千円減少
計	2,170,264千円	2,856千円減少



9月17日、令和4年産米の荷受作業を開始しました。

販売部 令和4年産
『ながめま米の館』
操業開始



昨年より7日遅いスタートとなり、「ななつぼし」「ゆめびりか」など約485tの受入を行いました。
また、本年も引き続き「食への安全・安心・信頼性確保」に向けて、品種判別のDNA鑑定や残留農薬の検査、カドミウム分析を実施し、より安全性の高い玄米を提供してまいります。



9月9日、米作研究会の現地研修会が町内で開催され、会員7名が参加されました。
普及センターの高田主査を講師に迎え、会員それぞれ稲株のサンプルを持ち寄り良品質米生産に向けた適期刈取時期を会員同士で確認しました。また、ほ場巡回を行い意見交換の場を設け有意義な現地研修会となりました。

ながめま農協
米作研究会
『町内現地研修会』

業務時間変更のお知らせ (11月～3月)

部門・部署		平日	土曜日	日・祝日	
一般業務	本所	9:00～17:00	休業		
	北長沼支所	9:00～16:30	※ 緊急時の連絡先は下記番号へお願いします キャッシュカード盗難・紛失等 ☎0120-944-904 自動車事故受付サポートセンター ☎0120-258-931 レッカー移動・故障時応急対応 ☎0120-063-931		
	舞鶴事業所	9:00～16:30			
貯金・融資 (窓口業務)	本所	9:00～15:30			
	北長沼支所	9:00～15:30			
現金自動支払機 (ATM)	本所	9:00～18:00	9:00～16:00	休業	
	北長沼支所	9:00～16:00	休業		
	舞鶴事業所	9:30～16:00			
資材センター	本所	9:00～16:30	11月 日直対応 9:00～12:00	休業	
			12月以降 休業		
機械センター		11月～2月 9:00～17:00 3月 8:00～17:00	日直対応 9:00～17:00	11月は日直対応 9:00～17:00 12月～3月は休業	
FAMO長沼	燃料センター	事務所	9:00～17:00	17時まで日直対応 9:00～12:00	日直対応 9:00～17:00
	ホクレン給油所	長沼給油所	8:00～18:00	8:00～17:00	第1・第3・第5日曜日は休業 第2・第4日曜日・祝日は 9:00～17:00
		北長沼給油所	8:00～18:00	休業	休業
		舞鶴給油所	9:00～16:30	休業	休業
Aコープ店舗	長沼店	10:00～18:00		10:00～18:00 定休日は店頭で お知らせします	
Aコープ店舗	北長沼店	9:00～17:00	休業	休業	

ながめま農協

青年部 JAびばい青年部との交流会



8月23日、青年部はJAびばい青年部との交流会を行いました。
はじめに、ブロッコリーとトマトの集荷場の視察を行い、その後ながめま青年部の部員宅にて、ブロッコリー、大豆、果



樹(りんご)のほ場視察を行いました。
近年、新型コロナウイルスの影響で交流ができませんでしたが、青年部員にとって、有意義な時間を過ごすことができました。

大豆採種組合 第2期ほ場審査実施



9月22日、第2期ほ場審査が実施され、全筆合格となりました。
収穫に向けての注意点などを普及センターの菅原専門主任と千石主査から指導をいただきました。採種組合の生産者が生産された種子は調製や根粒菌加工などを経て皆さんのもとへ配送されます。

第2期ほ場審査

農機具借換資金に関する金利優遇のご紹介

農機具購入の際に組まれた他金融機関クレジットを、JAフルスペックローンに借換ませんか？

金利
変動金利 **1.5% → 1.25%**
(R4年10月1日現在)
※ 100万円以上の借換で借入当初3年間最大0.8%の利子補給の対象

受付期間
令和4年11月30日(水)まで

他金融機関クレジットを組まれている方は、ぜひこの機会に償還計画表をご持参の上、地区相談員にご相談ください。

借換例			
～他金融機関クレジット借入から2年後に借換を行った場合～			
他金融機関クレジット		JAフルスペックローン	
借入金額	7,000,000円	借入金額	5,000,000円
支払年数	7年	支払年数	5年
手数料率	2.00%	利率 (R4.10.1 現在)	1.25%
分割手数料	980,000円	支払利息	91,500円
		他金融機関クレジット支払済額	2,280,000円
支払総額	7,980,000円	支払総額	7,371,500円

借換を行うと **60万8千円**もお得!!
※ 諸条件によりご希望に添えない場合もございますので、まずはご相談ください。

3. 雪腐病とコムギなまぐさ黒穂病の同時防除

雪腐病と合わせてコムギなまぐさ黒穂病防除を実施しましょう。

(1) 100ℓ/10a 散布 主な防除薬剤

農薬名	適用病害	倍率 (10a 散布水量)
フロンサイドSC	コムギなまぐさ黒穂病 大粒菌核病 黒色小粒菌核病 褐色小粒菌核病 紅色雪腐病	1000倍 (100～150ℓ) 地際まで十分散布
ランマンフロアブル	褐色雪腐病	1000倍 (100ℓ)
チルト乳剤25	コムギなまぐさ黒穂病 黒色小粒菌核病 褐色小粒菌核病 紅色雪腐病	750倍 (100ℓ)

(2) 無人ヘリ等の空中散布 主な防除薬剤例

農薬名	適用病害	倍率 (10a 散布水量)
フロンサイドSKY	コムギなまぐさ黒穂病 大粒菌核病 黒色小粒菌核病 褐色小粒菌核病 紅色雪腐病	8倍 (0.8ℓ) または 16倍 (1.6ℓ)
ランマンフロアブル	褐色雪腐病	8倍 (0.8ℓ)
チルト乳剤25	コムギなまぐさ黒穂病 黒色小粒菌核病 褐色小粒菌核病	8倍 (0.8ℓ)

※「フロンサイドSKY」購入使用にあたっては、別途「安全使用同意書」の提出が必要です。

※排水性悪い畑、転換畑は、「褐色雪腐病」の発生が予想されるので、ランマンフロアブルを混用しましょう。

※フロンサイドSCおよびランマンフロアブルの効果低減の目安
散布後から根雪までの降水量 (合計) 120～150mm

10～11月の 秋小麦栽培 ポイント



1. 雑草対策

イネ科雑草および広葉雑草処理を10月中旬までに実施しましょう。
処理が遅れると除草効果が劣り、越冬した雑草には、春の除草剤処理では効果が劣ります。

主な除草剤

対象雑草	農薬名	使用時期	10a 当り使用量 (散布水量)
イネ科雑草	トレファノサイド乳剤	小麦は種後～3葉期 (イネ科雑草1葉期まで)	200～300ml (100ℓ)
広葉雑草	エコパートフロアブル	小麦2～4葉期	50～75ml (100ℓ)

※エコパートフロアブル・・・展着剤は薬害を助長する恐れがあるので加用しない

※小麦2～3葉期は、トレファノサイド乳剤とエコパートフロアブルの同時処理が可能です。

2. 雪腐病対策

雪腐病は融雪後の生育遅延や茎数の減少を招き、収量・品質を低下させます。長沼町では、主に褐色小粒菌核病・紅色雪腐病による雪腐病が多いです。

今春は黒色小粒菌核病による被害を受けているほ場がありました。

以下の対応および防除を実施しましょう。

(1) 排水対策

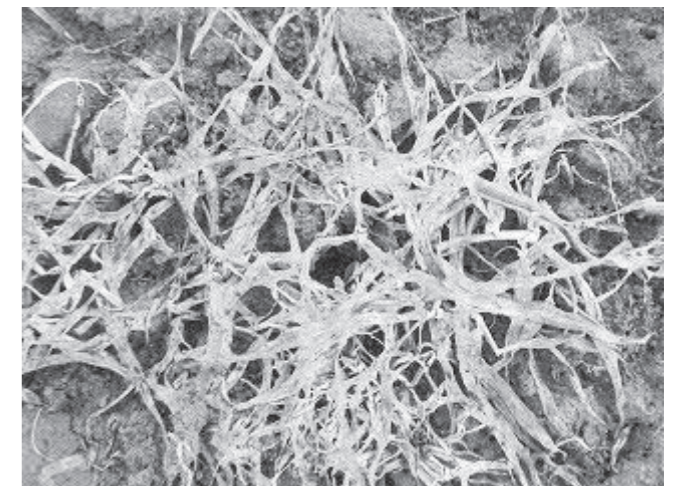
排水不良地では降雨や融雪水が滞り、窒息による枯死や雪腐病の発生を助長させます。融雪水が停滞しやすいほ場は、速やかに排水できるよう溝切りなどの排水対策を実施しましょう。

(2) 農薬による防除

根雪始に近いほど防除効果が高まりますが、降雨等により防除ができなくなる可能性もありますので、残効性に優れる薬剤で少し早めに防除を実施しましょう。スプレーヤーによる防除が実施できるように事前に防除通路を踏み固めておくことが必要です。また、防除はなるべく天気の良い日中に実施しましょう。

【散布時期の目安】11月上旬～11月中旬

【参考】近年の根雪始 令和2年1月4日 令和2年12月14日 令和3年12月18日



雪腐れにより枯死、黒色の小粒が多数見える

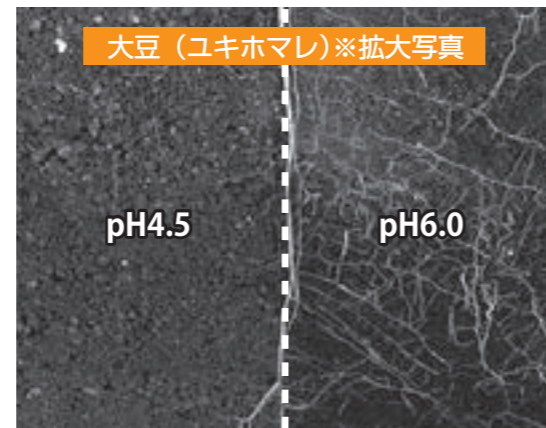
土壤診断を活用した適正施肥の推進について

土壤診断の果たす役割は、大きく二つあります。一つ目は、作物の生育不良の原因究明、二つ目は、水田・畑を正常な状態に維持管理する指標としての役割です。

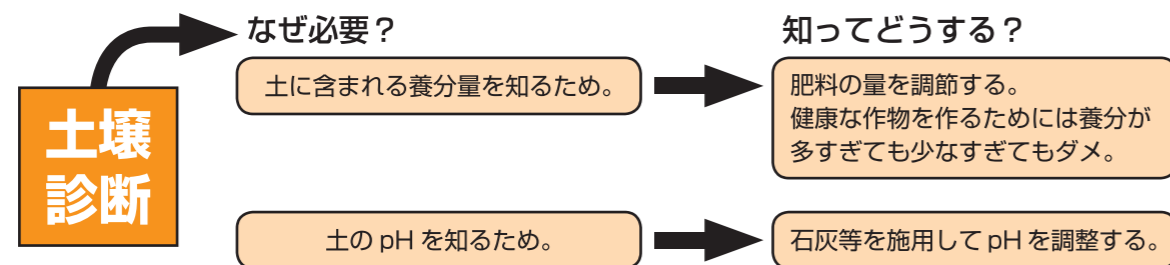
前者が緊急を要する対策診断に対して、後者は、人間の健康診断のようなもので、定期的に健診して悪い所をあらかじめ是正する予防的な診断です。

すなわち、定期的に土壤診断を行って、土壤改良や施肥改善に結びつけ、効果的・効率的な施肥及びほ場管理記録としてコスト低減につなげるうえでも必須改善事項です。

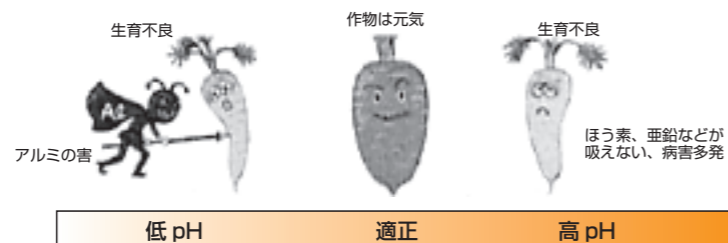
令和3年実施の診断結果では、畑地の3割が基準値(pH 5.5)より低く、酸度(pH)矯正が必要なほ場が多い事が伺えます。そのため、JAでは引き続き、土壤診断に係る費用の助成をおこなってまいります。



大豆(ユキホマレ)※拡大写真
土壤pHの違いによる根の生育状況



最低限 pH は 確認しましょう
(pH は土の健康のバロメーター)



期間 令和4年度から令和6年度までの3カ年

実施方法

- 土壤診断申込書とともに土壤分析試料を営農資材課へ提出してください。
※土壤診断申込書及び土壤分析試料サンプル袋は、北長沼支所、営農資材課、舞鶴事業所でお取り寄せください。
- 「ホクレンくみあい土壤分析センター」で実施します。(診断結果は、申し込みからおおよそ1カ月)
※混雑状況により診断結果がでるまでにおおよそ2カ月以上かかる場合もあります。
- 対象作物：水稲、畑作、野菜・花き(露地・ハウス)等
- 基本分析費用 2,200円/1点(税込)

助成内容

一戸当たり(正組合員)年間10点を上限に基本分析費用を助成

問い合わせ先

営農企画課 TEL 88-2226 営農資材課 TEL 88-2407

収穫後のほ場管理と土壤診断の実施のポイント

1. 水田のほ場管理

水稲収穫後のほ場管理は翌年の作業性を改善するだけでなく、収量・品質を高めるためにも重要です。今年は平年より収穫作業が早いので、以下の事項をぜひ実施しましょう。

(1) 稲わらの搬出

稲わらの焼却は、煙害(健康・交通)や産地への風評害の原因にもなりますので絶対に行わない。どうしても稲わらの搬出ができない場合でも、そのまま放置せず、できるだけ早い時期に土壤表面に混和しましょう。

(2) 排水改善

ア 溝掘りで表面排水の促進 イ 心土破碎の施工 ウ 排水路の清掃

(3) 畦畔の補修

冷害軽減に向けた深水管理や施肥・除草剤の効果を持続するためには、十分な畔高を備え、漏水対策をしっかりと行うことが重要です。畦塗りなどの補修を行いましょ。

2. 畑地のほ場管理

(1) 収穫残渣物処理と雑草対策

収穫残渣物は、速やかにほ場搬出し、残渣物は浅めにすき込みます。雑草発生ほ場では、残渣物すき込み10日程度の後、雑草発生揃い時期にラウンドアップマックスロードなどで雑草処理を実施しましょう。

(2) 排水改善

排水路の清掃(排水路の滞水回避)、心土破碎、額縁明渠の施工、暗渠排水の再整備、カットドレン等による補助暗渠の施工をしましょう。

3. 土壤診断の実施

高品質農産物の安定生産と施肥の適正化に向け、土壤分析結果や今年の生育を参考にし、ほ場ごとの適正施肥へ、土壤診断を3年に1回以上は行いましょう!

◎水稲育苗床土 基準pH4.5~5.0

◎水田土壌 基準pH5.5~6.0

◎畑作物土壌 基準pH5.5~6.5

土壤診断によりpH確認し、炭カルなどでpH改善しましょう。

※pH測定は、JA資材センターおよび農業改良普及センターで確認できます。

※ 目標pH6矯正への炭カル施用量(kg/10a 改良深10cm)

測定値(pH)	5.0	5.2	5.4	5.6	5.8
砂壤土	169	135	102	68	34
壤土	251	202	150	101	48
埴壤土	337	270	202	135	67
埴土	424	338	255	169	86

※アレニウス氏表による酸性矯正より(腐植程度:含むの場合)

多項目の土壤分析診断については、JA助成(1戸10点まで)を活用しましょう。

新型コロナウイルス感染症にかかる 入院共済金等のお支払いについて

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまに謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご回復を心よりお祈り申し上げます。

JA共済連(全国共済農業協同組合連合会、以下「当会」)では、**令和2年4月から実施しております新型コロナウイルス感染症にかかる入院保障の特別取扱い(以下「みなし入院」)のお支払い対象者について、令和4年9月26日(月)より、以下のとおり見直します。**

何卒ご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

ポイント 2 「みなし入院」の取扱いを開始した経緯について

入院共済金等は、共済約款において「医師による治療が必要」であり、「自宅等での治療が困難」なため、「病院または診療所に入り」、「常に医師の管理下において治療に専念する」場合にお支払対象とする旨、定めています。

令和2年4月当時、新型コロナウイルス感染症に罹患され、病院または診療所への入院が必要な状態にも関わらず、病床の逼迫等の事情により入院することができない状況が発生したことを受け、当会では、組合員・利用者の「安心」と「満足」を提供するというJA共済事業の使命のもと、医師等の管理下で宿泊施設や自宅での療養を余儀なくされた場合も、「入院」と同等に取り扱う特別取扱い(みなし入院)を開始いたしました。

ポイント 3 今回の見直しの背景について

今般、政府より新型コロナウイルス感染症に係る発生届の対象範囲について、令和4年9月26日(月)以降は全国一律に「重症化リスクの高い方」に限定されることが公表され、あわせて療養の考え方についても見直されることとなりました。

今回の政府による措置等を踏まえると、重症化リスクの高い方以外(医師による発生届の対象とならない方)については「常に医師の管理下において治療に専念する」状態との判断ができなくなることから、令和4年9月26日(月)以降の「みなし入院」のお支払い対象者について、見直すことといたしました*。

*今後、法令の改正等がなされた場合には、必要に応じて更なる対応を行う可能性があります。

ポイント 4 見直し後のご請求手続きについて

見直し後のご請求手続きにつきましては、「重症化リスクの高い方であること」の証明が必要となります。本人確認書類や母子手帳など、組合員・利用者あるいは医療機関等の負担とならないよう検討し、後日あらためて当会ホームページ等にてご案内いたします。

お問い合わせ

本件に関するお問い合わせについては、下記にて承ります。
なお、個別のご契約内容(共済金の支払いに関する事項等)については、ご契約先のJAへお問い合わせください。

JA共済相談受付センター

電話番号 **0120-536-093** 受付時間 午前9時から午後6時(月曜日～金曜日*)
午前9時から午後5時(土曜日*) ※祝日を除きます。

*当会ホームページ(<https://www.ja-kyosai.or.jp/>)においても、新型コロナウイルス感染症に関連した当会の取組みについて、随時最新の情報を掲載しておりますので、あわせてご確認ください。

22485000043

ポイント 1 「みなし入院」のお支払い対象者について

令和4年9月26日(月)以降、医師により「新型コロナウイルス感染症」と診断された方のうち、**重症化リスクの高い以下の方とします。**

重症化リスクの高い方

65歳以上の方

入院を要する方

妊娠中の方

**重症化リスクがあり、新型コロナウイルス治療薬の投与または
新型コロナウイルス罹患により新たに酸素投与が必要な方**

*令和4年9月25日(日)以前に新型コロナウイルス感染症と診断された方につきましては、重症化リスクにかかわらず、従前どおりのお取扱いといたします。

ケース		診断日*	
		9月25日以前	9月26日以降
入院された場合		○ お支払対象	○ お支払対象
宿泊・自宅療養された場合 (特別取扱い)	重症化リスクの高い方	○ お支払対象	○ お支払対象
	上記以外の方	○ お支払対象	✕ お支払対象外

*検査日ではなく、診断日での判断となります。

事故にあった！ 故障して動かない！

こちらに
お電話ください！

24時間 365日 事故受付とアドバイス

事故等の場合には
JA共済
事故受付
センター
0120-258-931

レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合には
JA共済
サポート
センター
0120-063-931



レッカーサービス

現場から100km以内のけん引が**無料！**

事故または故障により自力走行不能となった場合に、レッカー車で現場へ急行し、最寄りの修理工場等までお車をけん引します。



●事前にJAまたはJA共済サポートセンター（JA共済事故受付センター）に要請された場合に本サービスの対象となります。（ご自身で手配された場合は本サービスの対象外となります）

※トラブルの状況や手配内容によっては、ご利用者さまに費用のご負担が発生する場合があります。
※ロードサービスについて、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用、部品代・オイル代・ガソリン代等の実費は、サービスご利用者さまのご負担になります。
※JAF会員であるご利用者さまについては、ご利用者さまのご了承のもと、JA共済サポートセンターからJAFを手配する場合があります。その場合、レッカーサービスのけん引距離については現場から115kmまでのけん引に要する費用をサービス対象範囲とします。ロードサービスの作業時間については30分程度で対応可能な応急対応に要する費用に加え、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用について5,000円（税込）を限度にサービス対象範囲とします。

ロードサービス

30分程度で対応可能な応急対応が**無料！**

故障・トラブルにより自力走行不能となった場合に、対応業者が現場へ急行し、お車の応急対応を行います。



夜間休日 現場急行サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター（フリーダイヤル）へご連絡いただいた事故について、対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞き取りなどを行います。



※本サービス受付時間は、平日：0時～8時、17時～24時、土日・祝日：終日です。
※事故現場からお電話いただき、ご利用者さまが現場急行をご希望された事故が対象となります。
※原則として、対応員の出勤拠点から事故現場まで30分程度で到着できることが条件となります。ただし、高速道路上、離島、山間部など一部の場所は本サービスの対象外となります。
※JA共済より業務委託を受けたALSOKの対応員が急行します。

夜間休日 初期対応サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター（フリーダイヤル）へご連絡いただいた事故について、初期対応専任のスタッフがご利用者さまからの相談対応や相手方への迅速な対応（事故受付の連絡・修理工場への連絡・代車の手配等）を行います。

※本サービスの受付時間は、平日：17時～21時（対応は22時まで）、土日・祝日：9時～21時（対応は22時まで）です。
※対人賠償事故（人身傷害事故を含みます）、対物賠償事故、車両損害賠償特約のついた車両単独事故が対象となります。
※ご契約内容が確認できない場合、既にご加入先のJAの損害調査サービス担当者に対応中である場合等、本サービスを実施できない場合があります。

休日 契約者面談サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター（フリーダイヤル）へご連絡いただいた事故について、休日面談専任のスタッフがご利用者さまを訪問し、事故に関するご質問・ご相談に親身にお応えします。

※本サービスの受付時間は、金曜・祝前日：17時～24時、土曜・終日、日曜・祝日：0時～17時です。
※対人賠償事故で、事故の相手方が入院または死亡された場合が対象となります。
※JA共済より業務委託を受けた休日面談専任のスタッフが対応します。

■各種サービス共通の注意事項（サービスのご利用にあたっては所定の条件があります。）
※交通事故、気象状況等により、サービス業者の到着に時間がかかる場合またはサービスのご提供ができない場合があります。
※本資料は各種サービスに関するすべての内容を記載していません。サービスのご利用条件・提供範囲など、詳細については「ご契約のしおり・約款」をご参照ください。
※このチラシの有効期限は令和4年12月31日までです。

お問い合わせ先 JAながめま 金融部共済課 TEL0123-88-2225 JA共済

2201990033

JA共済 JAの自動車共済 安心サービスのご案内

ご契約の自動車が事故や故障に見舞われたときは

ご契約のJA（業務時間内）もしくは

安心サービス
（24時間 365日受付）

事故等の
場合には

JA共済事故受付センター
0120-258-931

レッカー移動や
故障時の応急対応が
必要な場合には

JA共済サポートセンター
0120-063-931

フリーダイヤル 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

安心の5つのサービス

- レッカーサービス ●ロードサービス ●夜間休日現場急行サービス
- 夜間休日初期対応サービス ●休日契約者面談サービス

24時間・365日、事故受付とアドバイス、各種サービスが受けられます。

もし 事故が起きたら・・・

なにより
119番

まず、
被害者の
保護を。

応急手当、救急車の手配を行ってください。軽いケガや自覚症状のない場合でも、医師に診断してもらいましょう。事故車をそのままにしておくと、交通渋滞や後続事故の原因となります。すぐに安全な場所へ避難しましょう。

かならず
110番

警察に
必ず
事故通報を。

安全を確保したら、警察への届出と相手方の確認を行いましょう。共済金の請求をするときには、交通事故証明書や医師の診断書などが必要です。そのためにもすみやかな届出が大切です。

- 警察には次の事項を連絡します。
- ①事故発生の日時と場所。
 - ②負傷者の人数とその程度。
 - ③壊したものとその程度。
 - ④事故に対して講じた措置。

いずれも
JAへ

事故通知を
JAへ。

警察への連絡後、JAへ詳しい通知、および相談をします。できるだけ現場での状況が的確にわかるよう相手方、目撃者からの確認とメモを忘れずに。

- JAへも次の要点をご連絡ください。
- ①事故状況・日時・場所。
 - ②相手方の住所・氏名・連絡先・傷害の程度・病院名・車両番号。
 - ③目撃者の住所・氏名。
 - ④届出警察署と担当官。

「ドライバー確認カード」を携帯しましょう！

自動車共済証書の下に「ドライバー確認カード」がついています。

氏名	北村 太郎	生年月日	1980年1月1日	性別	男	所属会社	JA共済
住所	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1						
電話番号	03-1234-5678						
免許取得年月日	2010年10月						
保険料納付状況	最新納付済						

ドライバー確認カード	
所属会社	JA共済
電話番号	0120-258-931 / 0120-063-931
保険料納付状況	最新納付済
免許取得年月日	2010年10月
保険料納付状況	最新納付済
免許取得年月日	2010年10月
保険料納付状況	最新納付済
免許取得年月日	2010年10月

（うら）

（おもて）

「ドライバー確認カード」には、事故が起こったときの連絡先や契約の情報が記載されています。

車検証とともに保存なさるか、あるいは、免許証とともにお持ちになってください。

📣 「インボイス」とは

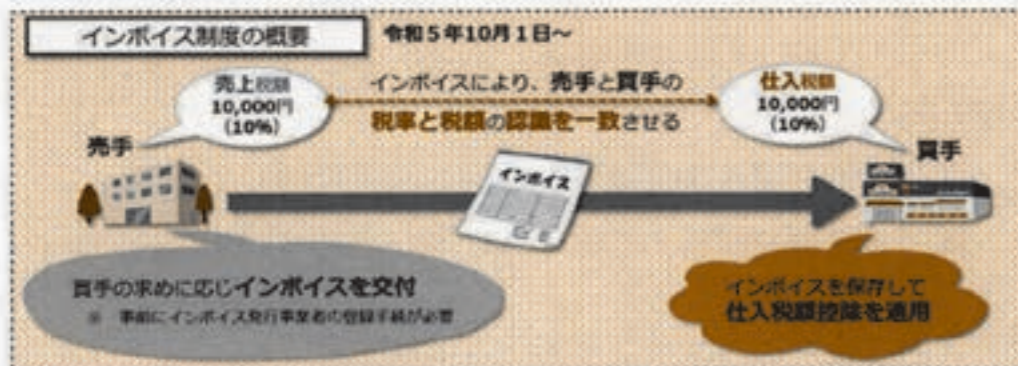
売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額等を伝えるものです。

具体的には、現行の「区分記載請求書」に「登録番号」、「適用税率」及び「税率ごとに区分した消費税額等」の記載が追加されたものをいいます。

📣 「インボイス制度」とは

売手であるインボイス発行事業者は、買手である取引相手（課税事業者）から求められたときは、インボイスを交付しなければなりません（また、交付したインボイスの写しを保存しておく必要があります）。

買手は仕入税額控除の適用を受けるために、原則として、取引相手（売手）であるインボイス発行事業者から交付を受けたインボイスの保存等が必要となります。



📣 インボイス制度特設サイト

制度の概要の他に説明会の開催情報や申請手続などを掲載しております。

「国税庁適格請求書発行事業者公表サイト」へのリンクもご案内しております。

免税事業者の方
向けのコンテンツ
も掲載中!

インボイス制度
特設サイト



📣 制度についての一般的なご質問は

チャットボットにご質問を入力いただくと、AIを活用して24時間自動でお答えします。

上記の「インボイス制度特設サイト」からも、ご利用いただけます。



インボイス制度の疑問
にお答えします!



税務職員ふたば

軽減・インボイスコールセンターでは、一般的なご質問にお答えします

フリーダイヤル 0120 - 205 - 553 (無料)

9:00～17:00 (土日祝除く)

※ 個別相談は、所轄の税務署への
事前予約をお願いします。

国税庁 (法人番号 7000012050002)

(令和4年8月)

消費税

事業者の方へ

令和5年10月

インボイス制度が始まります!

制度開始時に

インボイス発行事業者となるためには、
原則、令和5年3月31日までに
登録申請が必要です!

- インボイスを発行するためには、インボイス発行事業者の登録申請が必要です。登録は課税事業者が受けることができます。
- 免税事業者の方も、ご自身の事業実態に合わせて、インボイス発行事業者の登録を受けるかをご検討ください。
- 登録を受けるかどうかは事業者の方の任意です。登録にあたっては、取引先との調整やシステムの整備が必要となることもあるため、お早目のご準備をおすすめします。
- 登録を受けると「国税庁適格請求書発行事業者公表サイト」で登録番号や氏名又は名称等の情報が公表されます。



登録申請手続は、**e-Tax** をご利用ください!

- ☑ e-Taxで登録申請手続を行っていただくと、書面で申請された場合に比べて早期に登録通知を受けることができます!
- ☑ e-Taxで申請した場合、電子データで登録通知を受け取れます! 電子データで受け取れば紛失のリスクがありません!



個人事業者の方はスマートフォンからでもe-Taxで申請できます。
e-Taxのご利用には事前にマイナンバーカードの取得が必要です。

国税庁 (法人番号 7000012050002)

(令和4年8月)

農作業事故の聞き取りによる詳細調査から得られた事故別対応策

事例

トラクターで走行中、用水路に転落。
(右手中指挫傷・腰骨盤骨折・右大腿骨ヒビ 新潟県 57歳男性)

調査から分かった現場の状況

3.3m幅の農道をトラクターで移動中、左手に杭をくりつけたロープを持ちながら片手で運転を行っていた。ロープにつけた杭が運転席の足場に引っかかったので取ろうとしたところ、誤って左に寄り過ぎ、幅145cm、深さ158cm用水路に転落。スピードは2速であり、早くはなかった。トラクターに安全フレームは装着されていない。



現場の状況

心に刻もう

トラクター作業時の片手運転、脇見は大事故のもと

自分で今日から取り組もう

- ハンドルは両手で持つという基本的な安全意識を確認する。
- 万が一の転倒に備え、安全フレーム未装着トラクターは運転しない。

みんなと一緒に取り組もう

- 地域ぐるみで基本的な農作業安全意識の向上を図る。

先人の事故被害を無駄にしないために

ここには、事例に応じた対策を記載していますが、実際には、使用する機械や道具の状態、ほ場や農道の状況によって、現場に応じた様々な対応策が考えられます。地域における農作業事故根絶に向けて、どのような取組がもっとも効果的か、地域の皆様に継続して検討していきましょう。



この他にも農作業安全情報をHPに掲載!

農水省 農作業安全

検索

今からすぐにやってみよう!

今すぐできる

～農作業事故の対面調査から得られた事故防止対策～

機械作業を中断するときはエンジン停止!

刈払機の刈刃やトラクターのロータリなど危険な部分に接触する事例がありましたが、機械での作業を一時中断するときに、エンジンをかけたままにしておいたことが原因の1つでした。

機械操作を中断するときは必ずエンジンを止める習慣を身につけましょう。

駐停車をするときは、駐車ブレーキを確実に!

停めたトラクターが勝手に動きだし、転落事故やケガに至った事例がありましたが、駐車ブレーキが確実にかかっていなかったことが原因の1つでした。

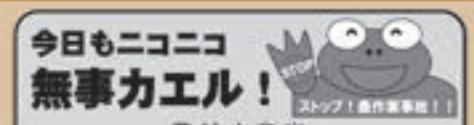
トラクター等を駐停車するときは、駐車ブレーキを確実にかける習慣を身につけましょう。

「ちょっとだけだから・・・」は危険!

トラクターが転落した事例や回転刃のチップソーで眼を負傷した事例がありましたが、ちょっと(の移動、の間)だけだからと、左右ブレーキの連結や、防護メガネを装着しなかったことが原因の1つでした。

「ちょっとだけ」でも、危険なものは危険です。常に安全な操作や装備を心がけましょう。

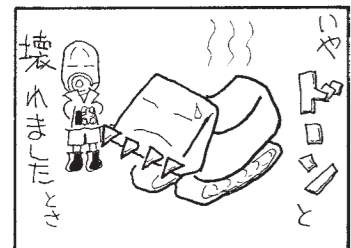
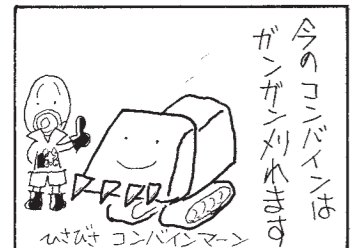
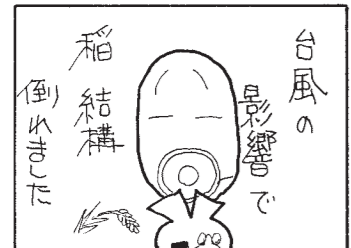
ここには、事例に応じた対策を記載していますが、実際には、使用する機械や道具の状態、ほ場や農道の状況によって、現場に応じた様々な対応策が考えられます。地域における農作業事故根絶に向けて、どのような取組がもっとも効果的か、地域の皆様に継続して検討していきましょう。



この他にも農作業安全情報をHPに掲載!

農水省 農作業安全

検索



ロータリーブレード 年内予約推進のご案内



来シーズンに向けたロータリーブレードの年内予約推進を行います。

JAオリジナルのSP爪・青爪・だんだん爪（株太陽製）および純正爪を予約特価でご提供いたします。

営農コスト低減のためにも、ぜひこの機会をご利用ください。

※10月24日(月)～10月28日(金)の日程で、各戸巡回推進へ伺いますので、ロータリーブレードの磨耗状況をご確認の上、交換が必要な方はお申し付けください。

お問い合わせ 本所資材センター ☎88-2189

みんなチェック！最低賃金。

北海道最低賃金

北海道内で事業場で働くすべての労働者（会社員、パート、アルバイトの方、学生さんなどが働くすべての人）及びその使用者に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されました。

時間額 **920円**

効力発生日 令和**4**年**10**月**2**日

○最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金及び時間外等割増賃金は算入されません。

厚生労働省北海道労働局 労働基準部 賃金室

Food 情報

Aコープながめま店

マオイの丘公園直売所
11月3日で出店終了

マオイの丘公園直売所では、新規オープンに向け新設工事が進められています。開設当初より地域の皆様と共に直売所事業に参加をさせていただきましたが、新設される直売所での出店はしないこととさせていただきました。今までの出店参加に感謝申し上げますとともに、今後は『Aコープながめま店』のご利用をお待ちしております。

“新米”ながめま産「ななつぼし」
土・日がお買得

Motor 情報

機械センター

秋の感謝セール
スタッドレスフェア

秋の感謝セールを10月17日～21日に開催します。毎年、好評をいただいている「スタッドレスフェア」を5日間限りの特別価格で提供いたします。また、オイルやバッテリー、ワイパーなどのメンテナンス点検と、コミコミ中古車の展示販売を行っていますので、お車のことは何でもお気軽にご相談ください！

『車検・定期点検』は
機械センターまで

Oil 情報

燃料センター

『紙上展示会』2022
開催中

住宅機器の展示会を、紙上（ちらし）で開催しています。10月31日までの期間中「石油ストーブ」や「ガスコンロ」など年に一度の大特価で提供します。物価高の中ではありますが、特価品も多数ご用意しています。また、ご成約の方には「FAMO長沼商品券」をプレゼント！冬の快適生活に向けて準備は早めに行いましょう。

ホクレン灯油
定期配送 受付中

燃料給油のお得情報

ホクレンSSカードで給油がおトク！
12月28日までの毎週“水曜日”
“ポイント**10**倍”を進呈
※通常「2Lで1P」のところ「2Lで10P」を進呈



ホクレン長沼SS、北長沼SS、舞鶴SS給油所で実施中

収穫後の排水対策

『カットドレーン』（穿孔暗渠機）
レンタルを行っています



無資材・簡単・迅速な暗渠設備で
抜群の排水性を！

適用馬力：クローラー 60PS～120PS
4輪駆動 70PS～120PS
レンタル料：44,000円/1日
(運搬料は別途)

農家直送!!
もぎたて市大収穫祭
開催中!!

もぎたて市

地元新鮮、朝もぎ野菜!!

大量入荷中

あさ 10:00 開店

今が旬のシャキシャキ野菜や
切り花など毎朝たくさん並びます。

トマト・ピーマン・玉ねぎ
じゃがいも・きゅうり・かぼちゃ
キャベツ・なす・切り花等

※天候により商品アイテムが少ない時もございます。

お待ちしております!

理事会報告 - 第10回 -

《令和4年9月5日開催》

[議案]

- 第1号 令和4年度上半期仮決算報告について(子会社)
- 第2号 令和4年度上半期仮決算報告について(農協)
- 第3号 令和4年産米概算金の設定について

[報告事項]

1. 会議行事報告について
2. 組合員の加入及び脱退の状況について
3. 主要農産物の生育状況について
4. 令和4年度 JA共済コンプライアンス点検結果について
5. 信用事業に係る疑わしい取引の届出について
6. コンプライアンス規程に基づく報告について(第2四半期)
7. 職員に対する定時手当の支給について
8. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。



今月の組合員数 (前月比)

組合員	1,575名(±0)
正組合員	814名(±0)
准組合員	761名(±0)
正組合員戸数	640戸(±0)

農協の動き 8/23~9/5

8月

23~26日	経営所得安定対策最終確認	於 農 協
24日	第16回 空知農業検討委員会	於 空知農業会館
24日	長沼町農業団体連絡協議会総会(書面議決)	於 農 協
25日	日本メイズ生産者協会設立記念シンポジウム	於 東 京 都
29日	空知管内JA夏季監事研修会(Web)	於 農 協
31日	退職辞令交付	於 農 協
31日	北海道土地改良事業団体連合会総会	於 札 幌 市

9月

5日	理事会	於 農 協
5日	事業推進員会議	於 農 協
5日	粃バラ施設運営協議会	於 農 協

食と農
ひらく未来へ
確かな目

食農のページがもっと楽しく
食農教育の知識がいっぱいつまっています。



購読のお申し込みはJAへ



THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞

喪中はがき 承ります
年賀状印刷

喪中はがき 10月20日より受付
年賀状 11月1日より受付

Aコープながめま店 ☎88-2222
Aコープ北長沼店 ☎89-2136